



各 位

平成15年5月13日

本店所在地 東京都港区六本木4-8-7 六本木三河台ビル
(登記上は東京都千代田区丸の内3-2-3)
会社名 **グッドウィル・グループ株式会社**
(コード番号: 4723 店頭上場銘柄)
代表者 代表取締役会長 折口 雅博
問合せ先 常務取締役管理本部長 金崎 明
電話番号 03 - 3405 - 9228

四半期の当社の事業進捗状況について

当社の第9期第3四半期(平成15年1月1日から平成15年3月31日まで)の事業の進捗状況についてお知らせ申し上げます。

1. はじめに

当四半期におけるわが国経済は、最終需要面をみると、設備投資は概ね横這いとなっているものの住宅投資は低調に推移しており、公共投資は減少するなど、国内需要に依然として回復の動きがみられません。個人消費においても企業の人件費削減姿勢が根強く、厳しい雇用・所得環境のもとで、当面弱めの動きを続けており、わが国の景気は、先行き不透明感が強い中で、全体的に横這いの動きを続けております。

当社は、企業理念に『拡大発展』『社会貢献』『自己実現』を掲げる設立9年目のベンチャー企業であり、本業の軽作業請負事業を行う一方でグループ3社を統括する持株会社でもあります。当企業グループは、人材に関するあらゆる支援ビジネス(総合人材サービス)を行っており、『アウトソーシング』『人材関連』『介護・医療支援』分野にて事業展開を図っております。

2. 当社における事業の進捗状況

(1) 当社の販売状況

当社の軽作業請負事業は、「労働力を必要な時に、必要な人数のみ、必要な場所にて確保したい」顧客ニーズに対し、作業スタッフの調達から作業の実施、完了までを請負うサービスの提供を行うアウトソーシング関連ビジネスであります。経済情勢悪化に伴い、アウトソーシングは、リストラクチャリング・リエンジニアリングの一環として見直されており、軽作業請負事業は、産業界のアウトソーシングの普及というフォローの風を受け創業以来成長を続けております。

当四半期におきましては、特に物流において需要が増加する3月から4月の繁忙期を前に26支店を新規に設置し、平成15年3月末現在250支店といたしました。これにより、前期までに構築した当社独自の全国ネットワーク網をより充実させ、スケールメリット(大規模による優位性)の最大化を図っております。

また、繁忙期対策の一貫として新規登録スタッフを増加させる目的でTVCMを放映いたしました。これにより、当四半期末の登録スタッフは約89万人となり、労働力の確保に効果がありました。3月の繁忙期には、創業以来最大である1日あたりの手配人数20,000人超、1ヶ月あたりの売上高4,571百万円となりました。

一方、品質向上のための施策といたしましては、全社員のスキル及びモチベーションのレベルアップを目的として教育研修部を平成15年1月に設置し、また、すべての企業規模、産業分野に適用したISO(国際標準化機構)の2000年版への移行に取り組んでおります。

このように、量的・質的な拡大を行った結果、当四半期の売上高9,680百万円、前期比36.0%の増収となりました。また、経常利益は1,152百万円、前年同期比38.1%の増益となりました。

(2) 第 3 四半期の売上高の状況

(単位：千円、単位未満切り捨て)

品目名	期別	15 年 6 月 第 3 四 半 期	14 年 6 月 第 3 四 半 期	増 減 率
		自 平成 15 年 1 月 1 日 至 平成 15 年 3 月 31 日	自 平成 14 年 1 月 1 日 至 平成 14 年 3 月 31 日	
請 負 作 業	キ ャ ス テ ィ ン グ 作 業	8,334,627	6,097,481	36.6%
	コ ン ス ト ラ ク シ ョ ン 作 業	426,140	401,764	6.0%
	セ ー ル ス プ ロ モ ー シ ョ ン 作 業	381,829	193,187	97.6%
	テ ク ニ カ ル サ ポ ー ト 作 業	222,183	185,973	19.4%
	オ フ ィ ス サ ポ ー ト 作 業	121,709	60,504	101.1%
	イ ベ ン ト 作 業	156,703	175,857	10.8%
	そ の 他	37,294	-	-
	計	9,680,488	7,114,769	36.0%

- (注) 1.上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2.当社が行う請負業務は人員数、期間等が一樣ではないため、数量表示は困難でありますので記載しておりません。
 3.品目区分について
 請負作業・キ ャ ス テ ィ ン グ 作 業 ... 軽作業全般の請負作業
 請負作業・コ ン ス ト ラ ク シ ョ ン 作 業 ... 建設、内装現場の請負作業
 請負作業・テ ク ニ カ ル サ ポ ー ト 作 業 ... マルチメディア関連の請負作業
 請負作業・セ ー ル ス プ ロ モ ー シ ョ ン 作 業 ... 店頭での販売促進等の請負作業
 請負作業・オ フ ィ ス サ ポ ー ト 作 業 ... オフィス・事業所内軽作業
 請負作業・イ ベ ン ト 作 業 ... イベント会場の設営・撤去等の請負作業
 請負作業・そ の 他 ... 上記以外の請負作業など
 4.オフィスサポート作業及びイベント作業は平成14年1月より発足していましたが、前期までは小規模のため「その他」に含めておりました。
 5.売上高の数値は、未監査であります。

(ご参考) 第3四半期までの売上高の状況 (四半期累計)

(単位：千円、単位未満切り捨て)

品目名	期別	15 年 6 月 第 3 四 半 期	14 年 6 月 第 3 四 半 期	増 減 率
		自 平成 14 年 7 月 1 日 至 平成 15 年 3 月 31 日	自 平成 13 年 7 月 1 日 至 平成 14 年 3 月 31 日	
請 負 作 業	キ ャ ス テ ィ ン グ 作 業	23,360,315	16,497,932	41.5%
	コ ン ス ト ラ ク シ ョ ン 作 業	1,181,455	538,578	119.3%
	セ ー ル ス プ ロ モ ー シ ョ ン 作 業	1,026,842	579,682	77.1%
	テ ク ニ カ ル サ ポ ー ト 作 業	538,084	472,944	13.7%
	オ フ ィ ス サ ポ ー ト 作 業	299,775	143,847	108.3%
	イ ベ ン ト 作 業	487,059	188,499	158.3%
	そ の 他	77,769	131,465	40.8%
	計	26,971,303	18,552,950	45.3%

3. 第3四半期の損益の状況

(単位：千円、単位未満切り捨て)

科目	15年6月第3四半期 自平成15年1月1日 至平成15年3月31日 (A)		14年6月第3四半期 自平成14年1月1日 至平成14年3月31日 (B)		前年同期比増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額(A)-(B)	増減率
	売上高	9,680,488	100.0%	7,114,769	100.0%	2,565,719
売上原価	6,340,417	65.5%	4,604,630	64.7%	1,735,787	37.6%
〔売上総利益〕	3,340,071	34.5%	2,510,139	35.3%	829,932	33.0%
販売費及び一般管理費	2,168,386	22.4%	1,685,131	23.7%	483,255	28.6%
〔営業利益〕	1,171,684	12.1%	825,007	11.6%	346,677	42.0%
営業外収益						
受取利息	2,547	0.0%	2,112	0.0%	435	20.5%
その他	11,163	0.1%	41,344	0.5%	30,181	72.9%
営業外費用						
支払利息割引料	31,823	0.3%	24,718	0.3%	7,105	28.7%
その他	1,283	0.0%	9,734	0.1%	8,451	86.8%
〔経常利益〕	1,152,287	11.9%	834,011	11.7%	318,276	38.1%

- (注) 1. 上記損益計算書においては、特別損益以下の項目の記載の省略しております。
2. 前年同期比増減欄の増減は下記の計算式によって算出しております。

$$\text{増減率} = \frac{(A)\text{当年第3四半期の実態} - (B)\text{前年第3四半期の実態}}{(B)\text{前年第3四半期の実態}} \times 100$$

3. 上記の数値は、当四半期における業績の速報であることから、一部正規の決算手続を経っていないものが含まれており、未監査であります。

(ご参考) 第3四半期の損益の状況(四半期累計)

(単位:千円、単位未満切り捨て)

科目	15年6月第3四半期 自平成14年7月1日 至平成15年3月31日 (A)		14年6月第3四半期 自平成13年7月1日 至平成14年3月31日 (B)		前年同期比増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額(A)-(B)	増減率
	売上高	26,971,303	100.0%	18,552,950	100.0%	8,418,353
売上原価	17,939,630	66.6%	12,004,173	64.7%	5,935,457	49.4%
〔売上総利益〕	9,031,672	33.4%	6,548,776	35.3%	2,482,896	37.9%
販売費及び一般管理費	5,913,561	21.9%	4,524,426	24.4%	1,389,135	30.7%
〔営業利益〕	3,118,111	11.5%	2,024,350	10.9%	1,093,761	54.0%
営業外収益						
受取利息	26,734	0.1%	14,780	0.1%	11,954	80.8%
その他	100,395	0.3%	122,694	0.7%	22,299	18.1%
営業外費用						
支払利息割引料	90,437	0.3%	62,873	0.4%	27,564	43.8%
その他	19,793	0.0%	51,688	0.3%	31,895	61.7%
〔経常利益〕	3,135,010	11.6%	2,047,263	11.0%	1,087,747	53.1%

- (注) 1.上記損益計算書においては、特別損益以下の項目の記載の省略しております。
2.前年同期比増減欄の増減は下記の計算式によって算出しております。

$$\text{増減率} = \frac{(A)\text{当年第3四半期の実態} - (B)\text{前年第3四半期の実態}}{(B)\text{前年第3四半期の実態}} \times 100$$

- 3.上記の数値は、当四半期における業績の速報であることから、一部正規の決算手続を経っていないものが含まれており、未監査であります。